

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年 11月 25日

事業所名: 放課後等デイサービスえるきた

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

Table with 11 columns: 区分, チェック項目, 事業所の現状評価 (はい, どちらともいえない, いいえ), 工夫した点、改善点, 保護者の方の評価 (はい, どちらともいえない, いいえ, わからぬ), 保護者の方のご意見, 評価を踏まえた改善内容・改善目標. Rows are categorized into 環境・体制整備, 業務改善, 適切な支援の提供 (including a continuation section).

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標						
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見					
関係機関との連携	12				定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6	0	0							引き続き行っていく。	
	1				子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	5	0	0	無回答 1 担当者が活動時の様子をまとめて記録したりスタッフ間で話し合ったりして、事業所内での共通認識を持って参画している。						引き続き行っていく。	
	2				(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施											
	3				(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備											
	4				児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	5	1	0	可能な限り児童発達支援事業所と情報を共有する場を持ち、引継ぎを行っている。またサポートファイルやアセスメント記録等も確認している。							引き続きスタッフ間の共有を徹底していく。
	5				他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	5	1	0	生活介護事業所等との情報を共有する場を持ち、当事業所での活動内容や様子について伝えている。							引き続き行っていく。
	6				児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講	6	0	0	研修に参加したり、支援会議や子ども部会等で連携をとったりしている。							引き続き行っていく。
	7				児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	5	1	コロナ禍を経てお出かけの機会が減り、交流が出来ていない。今後は地域の児童館等へのお出かけをして交流を図っていく。	8	3	4	14	無回答 2	おでかけ等で交流があった場合は連絡ノート等で保護者様に伝えていく。長期休暇等で交流の機会を確保できるよう企画していく。	
8				事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	5	1	0	地域の方に夏祭りやクリスマス等のイベントにボランティアとして参加して頂いている。							引き続き行っていく、地域の方との接点を持っていく。	
保護者への説明責任・連携支援	1				支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5	1	0	契約時にアセスメントを行い本人や家族の意向を確認して支援内容を決定している。利用者負担については重要事項説明時に伝え、変更があればそのつど機関紙に記載したり、問い合わせがある場合は確認して対応している。	28	2	0	1		引き続き行っていく。	
	2				児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6	0	0	支援計画について個別に説明し、同意を頂いている。不明な点等があれば問い合わせをして頂くように声かけをしている。	28	2	0	1		丁寧な説明が出来るよう気をつけながら引き続き行っていく。	
	3				保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	5	1	0	今年度はペアレントトレーニングではなかったが、高校卒業後に必要な手続きや就労、福祉サービスについての勉強会を行った。	14	4	1	12		勉強会については引き続き、定期的に行っていく。保護者会等でペアレントトレーニングの開催を企画していく。	
	4				子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6	0	0	連絡ノートや送迎時に活動内容や気づいた事などを保護者様に伝えるようにしている。また必要に応じて電話で様子を伝えて共通理解を持てるようにしている。	29	2	0	0		引き続き行っていく。	
	5				保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	5	1	0	日頃の様子を伝える際に、必要であれば相談の場を持つようにしている。	26	2	0	3		こちらから保護者様に声をかけ、相談しやすいきっかけができるよう努めていく。	
	6				父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	6	0	0	定期的に保護者様お茶会を開き、保護者様同士の交流の場となるようにしている。	27	2	0	2		保護者会は定期的開催されているのは知っているが、なかなか参加できない。	いろんな保護者様が参加できるよう開催日について検討していく。
	7				子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	6	0	0	スタッフ間で苦情があった場合の体制を周知している。また、保護者様には契約時に説明をしている。	23	3	0	5		引き続き契約時に説明を行っていく。苦情ボックスと用紙を分かりやすいよう工夫していく。	
	8				障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6	0	0	利用児童には伝わりやすいよう個別対応や視覚ツールを使用している。保護者様には送迎の際にその日の様子を伝えたり、必要に応じて個別に声をかけたり説明をしたりしている。	30	1	0	0		引き続き行っていく。	
	9				定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	6	0	0	季節ごとに機関紙を発行し、変更点や活動の報告等、必要な情報を発信している。行事予定は毎月配布している。	30	1	0	0		引き続き行っていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	6	0	0	28	0	0	3	引き続き研修を行っていき、スタッフの意識を高めていく。保護者様には、ていねいな説明を行っていく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6	0	0	28	1	0	2	引き続き保護者様には機関紙等でマニュアルについて伝えていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	6	0	0	30	0	0	1	1か月に1回、定期的に避難訓練をしていただいているようで、ありがとうございます。
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	6	0	0					引き続き行っていく。又、外部の研修等に参加し、適切な知識や新しい知識を身につけていく。
	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5	1	0					引き続き確認を行い、スタッフ間での共有を徹底していく。
	5 安全管理の徹底	6	0	0					引き続き行っていく。
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	6	0	0	29	1	0	1	引き続き行っていく。閲覧しやすいよう、事業所内の掲示に加えてHPで公表し、見直しや更新の都度、機関紙でお伝えていく。
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	6	0	0					引き続き行っていく。
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	6	0	0					引き続き行っていく。
	9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	6	0	0					引き続き行っていく。